

教育目標

かしこく やさしく たくましく

(すすんで学ぶ子ども) (思いやりのある子ども) (たくましい子ども)

文科省 学習指導要領
県・東北の指導の重点
福島市教育基本方針

下小の子どものよさ

- 1 素直で誠実
- 2 コミュニケーション力
- 3 思いやり
- 4 協調性

めざす子どもの姿
夢を抱いてぐんぐん伸びる下小の子ども



わかる できる そして、考える喜びを求め
かかわりと 優しさを大切にして
たくましい 心と体のもと
けんめいに 夢を抱いて歩む 下小の子ども

下小の子どもの課題

- 1 思いやり
- 2 あいさつ・言葉遣い(社会性)
- 3 コミュニケーション力
- 4 自ら考え行動する(自主性・主体性)

教育目標を支える令和6年度努力目標及び実践事項

努力目標	「確かな学力」を育む学びの改善	「豊かな心」を育む道徳性の育成	「健やかな体」を育む健康・体力の保持増進
実践事項 (◎重点)	1 一人一人の学びの状況に応じた指導を工夫する。 ・ 学習用タブレットの効果的な活用 ・ リーディングスキルを高める指導 ◎ 国語科、算数科における基礎力をつける工夫(モジュール授業の効果的な実施) ・ 豊かな読書活動の推進(朝の読書活動など) ・ 学習タイマーの活用による学習におけるタイムマネジメント力の向上 2 話す・聞く・伝え合う力の育成と、「授業スタンダード」を基にした授業改善をする。 ◎ 校内研修における話す・聞く・伝え合う力の育成の研究 ・ 授業における対話と振り返りの充実 ・ 教職員の専門性を生かした研修の実施 3 「家庭学習スタンダード」による家庭学習の習慣化と学校での学びとの連続性を図る。 ◎ 自己マネジメント力の育成(家庭学習計画表の作成など) ・ タブレット持ち帰り学習の実施	1 基本的な生活習慣の指導の徹底を図る。 ◎ 家庭や地域との連携協力体制としての松川地区3つの約束の取組 ・ あいさつ、言葉遣いなど言語環境の整備 ・ 家庭や地域との連携協力体制の充実 ・ 教育相談と教育アンケート結果の活用(いじめ見逃し0・解消100%、不登校0%) 2 道徳科と特別活動を充実させる。 ◎ 情報モラル教育の継続的な実践 ・ 「人格形成」「社会参画」「自己実現」等の資質・能力を育成するための特別活動の充実 ・ 考え議論する道徳科授業の実践 3 自尊感情を育む活動を充実させる。 ◎ 町内小学校交流による人間関係づくり ・ 異年齢集団による交流を通して、望ましい人間関係を形成する児童会、クラブ活動、縦割り班活動「わかたけタイム」の精選と充実 ・ 高め合う学習集団づくり(QUテスト分析) ・ 地域を愛する心を育てるための地域人材活用と地域関連学習	1 一人一人が自分に応じためあてをもち、日常的に体力作りに取り組めるよう工夫する。 ◎ 教科体育におけるめあてをもたせた学習の実践及び運動量の確保(走力、投力など) ・ 新体力テスト結果の分析と活用 ・ 「運動身体づくりプログラム」の継続的な実践 ・ 目標をもって日常的に体力作りに取り組むための場の設定やカード等の活用 2 健康を保持増進するための実践力を育てるための保健学習と保健指導を充実する。 ◎ 健康の保持・増進のための充実した保健指導の実施 ・ 保健や学級活動におけるTT指導の推進 ・ 校内の連携と月ごとの保健指導の充実(保健室の機能を生かした相談活動の充実) 3 学校安全体制の強化と子どもの安全意識を高める。 ◎ 基礎的な知識と行動する態度や能力の育成 ・ 環境パトロール等家庭・地域との連携協力 ・ 安全、防災、放射線教育の充実
取り組みの視点	☆ 少人数指導のよさを生かした指導を通して学力向上を図ります。 ☆ 家庭と学校とで連携協力し、確かな学力を身につかせます。	☆ 松川地区の一員として必要な資質や能力を育てます。 ☆ 子どもたちの個性やよさを伸ばす指導に努めます。	☆ めあてをもって進んで体力作りに取り組ませ、体力を向上させます。 ☆ 安全に関する正しい知識を身に付け、自ら考え行動できる力を育てます。

「若竹」の理念

不登校・いじめ0

教育のICT化

松川地区幼保小中連携

教職員の働き方改革

説明責任・結果責任

豊かでたくましい
心の根っこ

心身ともに健康な土壌
(家庭や地域等)

コンプライアンス向上

